

# PER77倍のイオン 買って良いのか？

2022/04/14

# 直近の決算は黒字転換

## 連結業績



- ・増収増益。営業収益はコロナ前の過去最高を更新し8兆7000億円台へ
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は775億円の大幅改善で黒字転換

(億円)

	前期実績	当期実績	前期比・差
営業収益	86,039	<b>87,159</b>	<b>+1.3%</b>
営業利益	1,505	<b>1,743</b>	<b>+237</b>
経常利益	1,388	<b>1,670</b>	<b>+282</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	-710	<b>65</b>	<b>+775</b>

# PERは77倍と激高

負債 225	イオンの【株価予想】を見る		
8267 イオン	東証P 15:00	業績	PER PBR 利回り 信用倍率
★ 2,489.0円	前日比 -23.0 (-0.92%)	小売業	76.6倍 2.20倍 1.45% 0.67倍
比較される銘柄 <a href="#">セブン&amp;アイ</a> <a href="#">ローソン</a> <a href="#">パコ-HD</a>	単位 100株	時価総額	2兆1,702億円
基本情報 <a href="#">チャート</a> <a href="#">時系列</a> <a href="#">ニュース</a> <a href="#">決算</a> <a href="#">大株主</a>	決算New! 2022/04/08 発表		



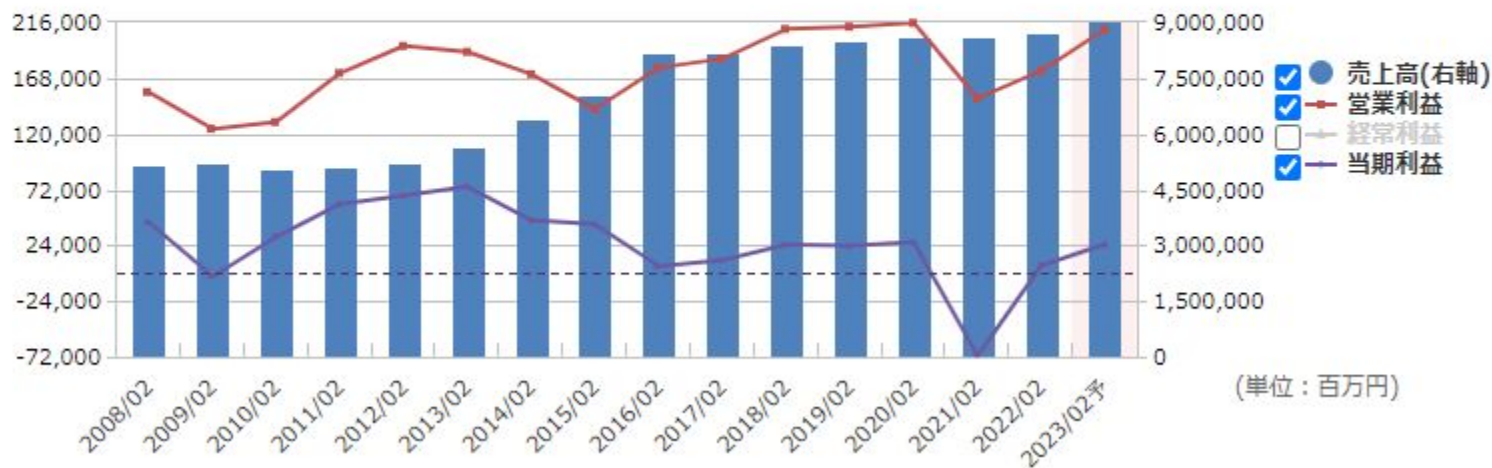
# 売上高は伸びているが、利益は伸びてない

## 通期業績推移

業績 前期比 指数 利益率 変動要因

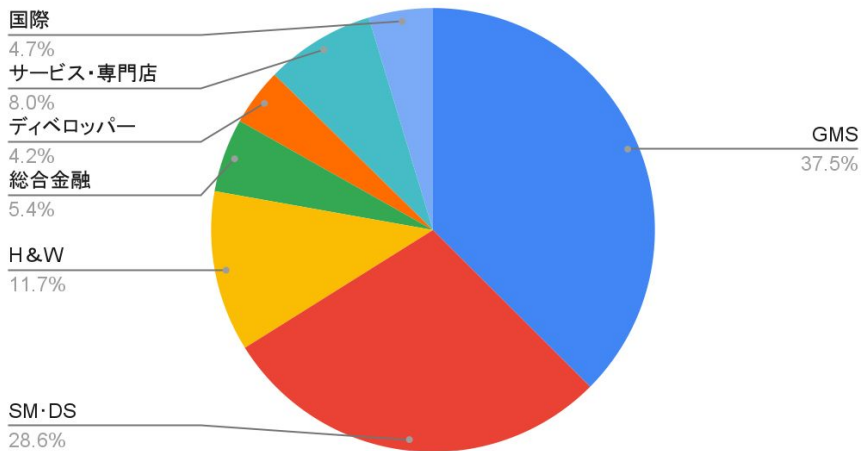
全期間

詳細:

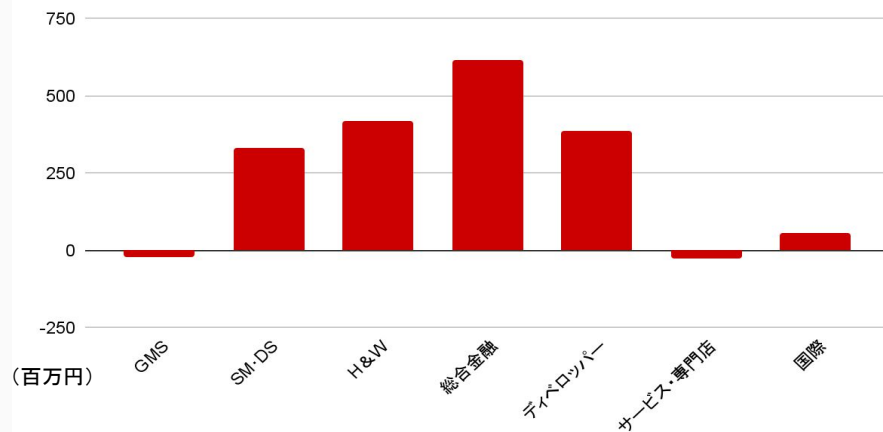


# 売上の大半はスーパー、利益はそれ以外

## イオン:セグメント別売上

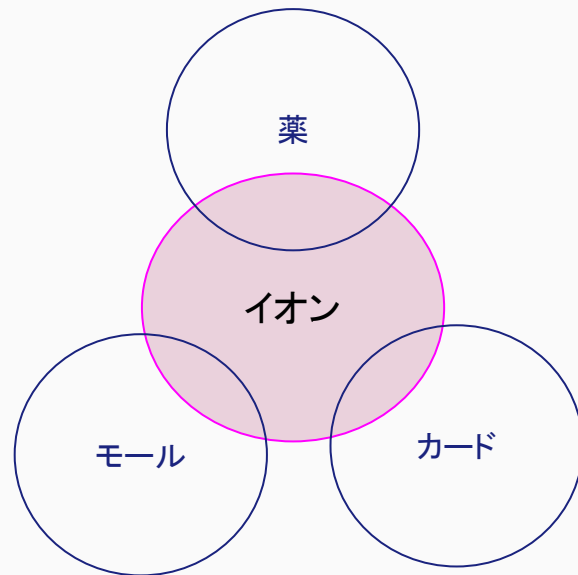


## セグメント別営業利益



# イオン ビジネスの実態

- 本業のGMS事業ではほとんど利益が出ていない
- 周辺のドラッグストア、クレジットカード、ショッピングモールで稼ぐ
- 子会社は上場しているため、最終損益では利益が外部流出することになり、イオンの株主利益はほとんど残らない



# 利益の大部分が少数株主へ流出

イオン㈱ (8267) 2022年2月期 決算短信

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
特別利益		
固定資産売却益	7,311	2,027
退職給付制度改定益	7,853	239
受取保険金	683	2,732
補助金収入	6,530	9,759
その他	4,857	3,425
特別利益合計	27,236	18,184
特別損失		
固定資産売却損	397	153
減損損失	57,821	44,347
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,172	1,949
固定資産除却損	3,236	2,439
新型コロナウイルス対応による損失	33,964	6,536
その他	12,226	7,003
特別損失合計	112,819	62,429
税金等調整前当期純利益	53,219	122,823
法人税、住民税及び事業税	82,144	71,015
法人税等調整額	8,847	△6,175
法人税等合計	90,992	64,840
当期純利益又は当期純損失(△)	△37,772	57,982
非支配株主に帰属する当期純利益	33,252	51,477
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△71,024	6,504

# なぜ株価(PER)は高止まり？

仮説 ①

子会社を含めた価値

仮説 ②

将来的なGMS事業の収益化

仮説 ③

株主優待による押し上げ



# 子会社の保有価値

会社名	時価総額(億)	持分比率	時価(4/14現在)
ウェルシア	5,723	54%	3,090
イオンモール	3,491	58%	2,030
イオンフィナンシャル	2,547	48%	1,224
イオン北海道	1,428	76%	1,078
イオンディライト	1,521	51%	775
USMH	1,480	52%	773
イオンリート	3,085	19%	580
イオン九州	729	75%	548
イオンファンタジー	413	66%	272
合計	20,417	51%	10,370

**イオン時価総額 2.17兆円**

# 将来的なGMSの収益化



# 人気支える株主優待



100株以上所有の株主さまの  
「株主優待カード」です



株数	優待利回り(最大)	総合利回り(最大)
100	<b>24.00%</b>	<b>25.44%</b>

※株価2,500円、年配当36円、優待カード利用200万円(半年100万円ずつ)

# まとめ

- イオンはGMSで人を呼び、**金融やモールで稼ぐ**ビジネスモデル
- 儲けている子会社は上場しているため、利益の大部分は**少数株主に流出**
- 本業は赤字、大改革がなければ**PER77倍**を正当化するのは難しい
- 一方、**優待利回りは最大24%**にも達し、株価を下支え
- 株価を気にせず長期で保有し、かつ**イオンで多額の買い物をする人**にとってはとても有益な銘柄(ただし、たくさん保有するほど利回りは低下)